



発行所
三池炭鉱労竹組合
大牟田市不知火町2
電話(53)3033番
(53)3034番
編集兼
発行人 前川 哲也
半年間1,200円 送料共

裁判公判日程

で。吉田磯彦・曙病院長の証言
予定。
上村裁判再開公判 六月二
十二日午前十時から福岡高裁
日午後一時から、福岡地裁で。
患者家族の証言。
九・二八坑内火災裁判 七
月五日午後一時から福岡地裁
たものを会社の提起で再開へ。

三池労組は春闘四十八時間ストライキに突入した五月十七日、大牟田市体育館(延命公園内)側で「春闘勝利抗議集會」を開き、炭労・三池労組の賃上げほかの諸要求について冷たい態度を取り続けている会社「石炭協会」に抗議、同時に各要求を獲得するまで、まわりの新労組員や社外士の仲間にも呼びかけながら力の結集に努力し、闘うことを誓った。集

私採炭の現状

私たちが炭鉱に働く仲間の職場―
三池南大夕張炭鉱でガス突出、死
者十六名、重傷者十五名を出して
いる。

私たちの三池炭鉱でも坑内保安
は万全とはいえない。
私たち三池炭鉱分會はA
とB部内で採炭をおこない、三川
鉱の出炭を待たせている。

A部内は高温職場で、地熱五十
度という地帯で働かされている。
三川鉱の生産会議でも、「現状よ
り悪くはない」というだけで
終掘までガマンしてくれ、といわ
んばかりである。

五月十一日、西十三片の私で、
採炭中にミニクレーンを撤去して
後入れなかつたりしたことで、山
下副長に抗議をしている。
B部内は単層私で、ホールビ
動機の組み合わせなどで採炭して
いるが、一日じゅう中腰のまま腰
の痛さをこらえ、高温のなか働か
されている。

それに東八片の詰にある休憩所
や、そこに通ずる道中は狭く、中
腰で歩かねばならず、そのため地

地熱50度での私採炭

賃金は石炭一トン分にもならず

会にはストに突入した組合員に、主婦も一日の労働を棄てて
かけつけるなど五百人を上まわる人が結集した。その日組合
員の手塚俊久さん(四山)、芳川勝さん(三川)、米村稔さ
ん(本所)、平川道治さん(港務)の四人が職場仲間を代表
し、マイクを手に会社に抗議した。次は、そのなかの一人
―芳川勝さん(三川指導部第五分會)の抗議文である。

余りな低賃金

下げやホールピ口の通路の確保
を要求しているが、また改善され
ていない。
一万三千円で売られているか
ら、採炭の私たちの賃金は石炭
炭一トン分にもならない賃金であ
る。
五十三年度下期、三池炭鉱は予
定出炭を上まわる実績をあげてい
る。三井鉱山の株価は六百四十円
に上り、配当も続けている。一方
私たちは昨年春闘で、一方
に上り、配当も続けている。一方
私たちに比べ、私たちが、とくに採
炭一トン分の賃上げを勝ち取った
私たちが採炭労働者は、三川鉱に

南大夕張災害に怒り

労働者を虫ケラ扱い

二重災害、奪う人命16柱

北海道の三池南大夕張炭鉱で起きた二重災害は、十六柱の人命を奪ったが、三池炭鉱の職場ではまだ詳細がわからぬながらも、「資本が炭鉱労働者を虫ケラ扱っている証拠だ。実力をうってでも抗議すべきだ」との声が聞かれる。

余りに無謀な対策

こうして起きた二重災害

労働者の命十六柱もの多くなった
二重災害が起きたのは、北海道の
夕張市南部東町、三池炭鉱業南
大夕張炭鉱(稗治所長)。
五月十五日午後九時五十分
ま、同鉱の坑口から約四千七
一トンはいった掘進現場でガス突
出事故発生。そこで掘進作業中の
一人―三好政男さん(四十一

三井三池炭業所前で、芳
川さんは抗議文を朗読



家に帰るのは十日間に三日

観光バス乗務員

観光バスの経営者は、
観光需要を上げるだけ、
無理な行程を乗務員におし
つけるのが一般的になってい
ます。
道路状況と行程など「運輸
規則」を無視し、事前の調査
も行わないで、機械的な机上
計算で、乗務員に行程の消化
を押しつけているのが実態で
す。乗務員は道路交通事情も
不明のまま、スピードを出し
て運転せざるを得ないので

共に闘う日のくるを信じて

私は妻と子供との四大家族だ
が、勤続八年で手取り十三万円
くらいである。
公共料金や諸物価の値上がりで
一昨年より昨年、昨年より今年と
年々、生活は苦しくなってきた。
四山鉱の坑内機械工(三十七
歳)の一人の人から、春闘要請に
ついて寄せられた感想。

国民的統一へ前進

原水禁大会NGO懇を軸に

核兵器完
全禁止と被
爆者援護を
めざす国民
(NGO)
懇談会の総
評事務局長は「総評は今年の世界
大会が国民的大結集をはかり、内
容の充実したものとしよう努め
てきたが、NGO懇談会の作業ク
ールで開か
れ、この懇
談会が産婆
役になって
ようとしており、統一世界大会の
成功にむけてみんなで全力をあ
げ、原水禁、原水協、核実験止
どで予定していると伝えられる諸
行動も、世界大会成功をめざすこ
う前提にたち、相互理解が必要
である」と訴えた。